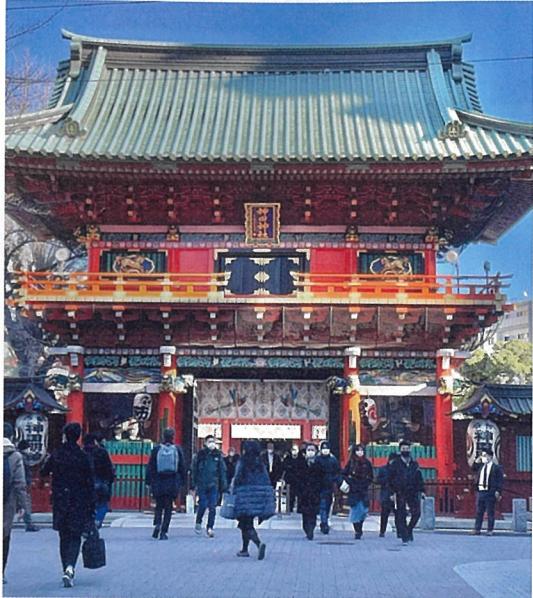


街に行く

第133回 神田 Kanda

変わらないのか、変わらないのがあっぱれ



隣町の進化に取り残された
古い街だが、それはそれで神
田の良さかも知れない

この記事の掲載は2月ですが書いているのは年明けです。ちなみに本連載は「ロサンゼルス」(2010年11月号)を皮切りに133回を数え今年で12年目に突入します。新年に相応しい街として「神田」を選びました。この街は、じつは弊社事務所のある場所。「灯台下暗し」と言いますか、取り上げるのは今回が初めてです。なぜ新年に相応しいかと申しますと、商売の神様「神田明神」があるから。初詣のお参りでは、読者の皆様のご健勝はもちろん商売繁盛を祈願して来ましたよ!

昨年はコロナ一色となり、小生は感染防止を良い事に眠っていたような1年でした。このままでは駄目だと昨年末に大反省し、これから精一杯活動していく所存です。とはいえたがコロナは大猛威、第6波には重々気を付けつつ多くの方々との交流を図りたい構えです。皆さんにはご迷惑は承知でアポを取らせていただきますので、面談が無理な

方は遠慮なく仰って下さい(ウェブ面談でも結構ですので、よろしくお願ひいたします)。

さて、昨年ほど情報と人との交わりの重要性を痛感した時はありませんでした。交わりはオンラインでも満たされますが、画面では判らない相手の心が直に会うと読みとれます。一般的のルーティーンではなく、皆様の心の需要を満たすのが仕事と解釈し、対面は今のテクノロジーで満たされない価値を感じます。初詣もその一つ。ネットで済ましても良いのかもしれません、実際に参拝し手を合わせる体験は格別です。神田の街は、不動産的に言うと二大臣頭のホームタウンの隣にある街ですが、一番の売りはアクセス利便性。東京駅まで一駅です。常に進化する丸の内や八重洲の街と対照的に、神田は古き良き江戸を残す下町。近くとも文化の違いは大きいです。

三越前、日本橋にも銀座線すぐ行け

ます。この2つの街は新・東京文化の街として生まれ変わりましたね。その一方で神田は街の変化が部分的で大々的な進化はありません。中小ビルの集積だからか、進化した隣町に追いつかない企業の受け皿だからでしょうか。それはそれで独自文化であることは確かですし、この先も変わらない。いや、この街は利便性からして変わらないのです。これこそ神田の醍醐味だと思います。

南一弘



1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エースト・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発(旧松下興産)の代表取締役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。